



平成22年度文部科学省科学技術振興調整費「女性研究者養成システム改革加速」



名古屋大学における ポジティブ・アクションの取組 「名古屋大学方式 女性研究者 採用加速・育成プログラム」

発表者：名古屋大学男女共同参画室長
同担当総長補佐 東村博子

名大のこれまでの取組みと女性教員比率の上昇

両立支援研究環境基盤整備

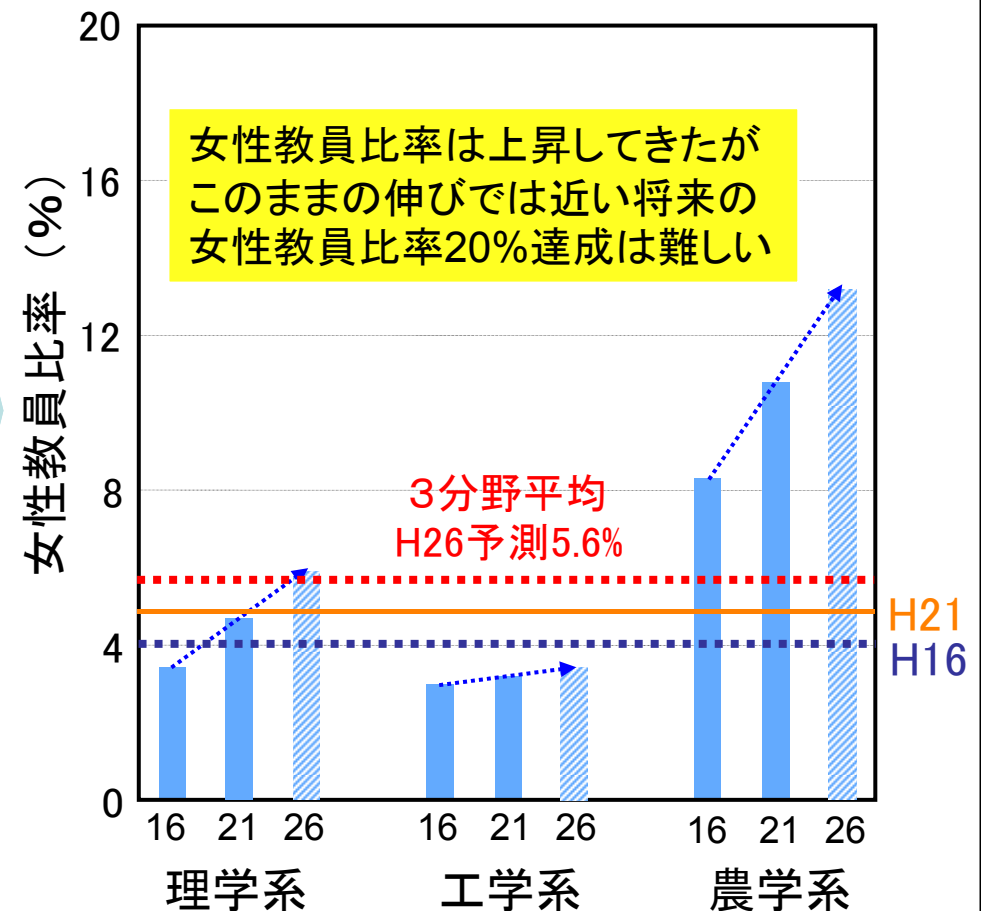
学内保育所・学内学童保育施設整備
病後児保育支援
短時間勤務制度
IT利用両立支援システム など

若手研究者層の拡充

理系進学セミナー
エンカレッジセミナー

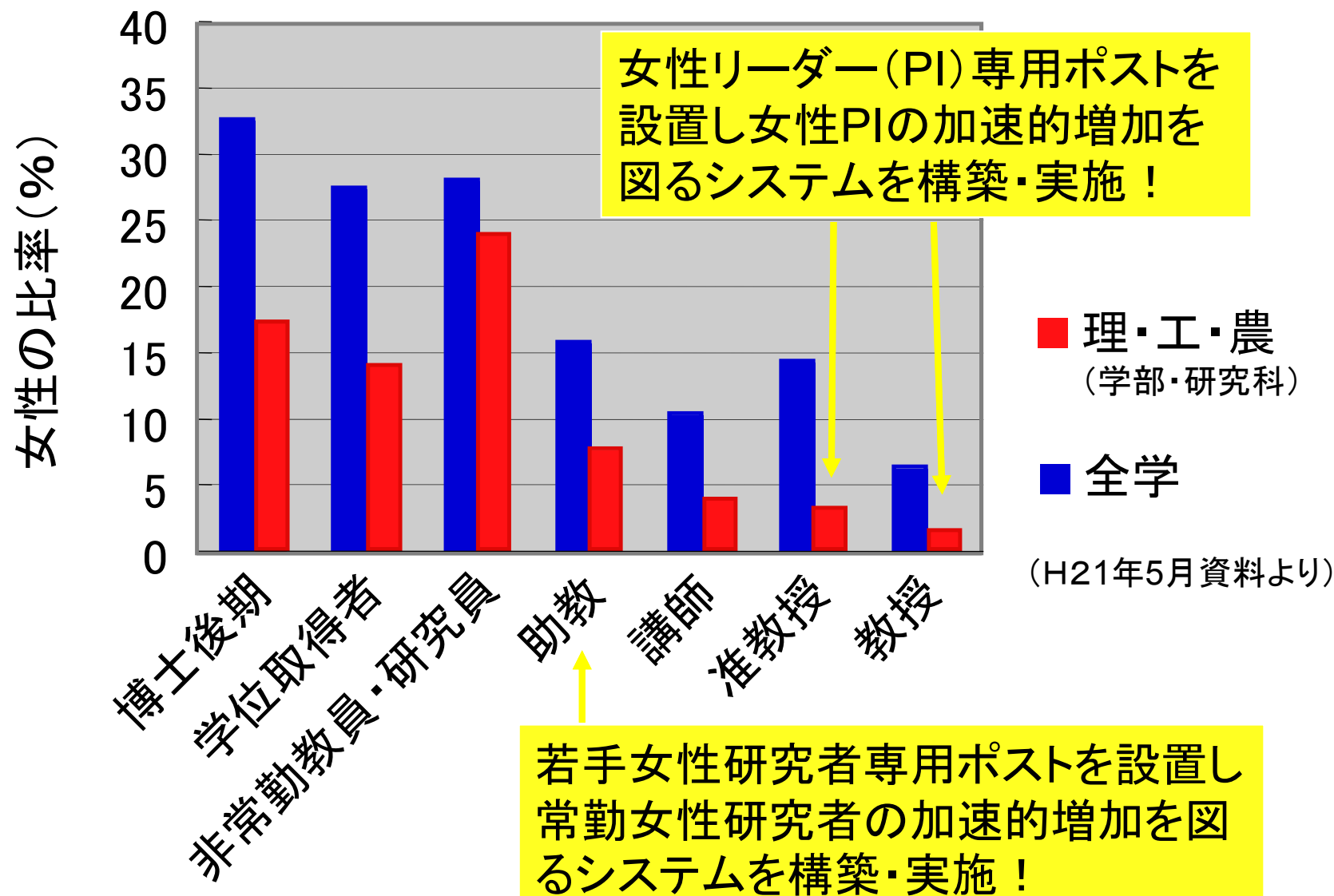
女性研究者の常勤職採用の促進 キャリアアップ支援

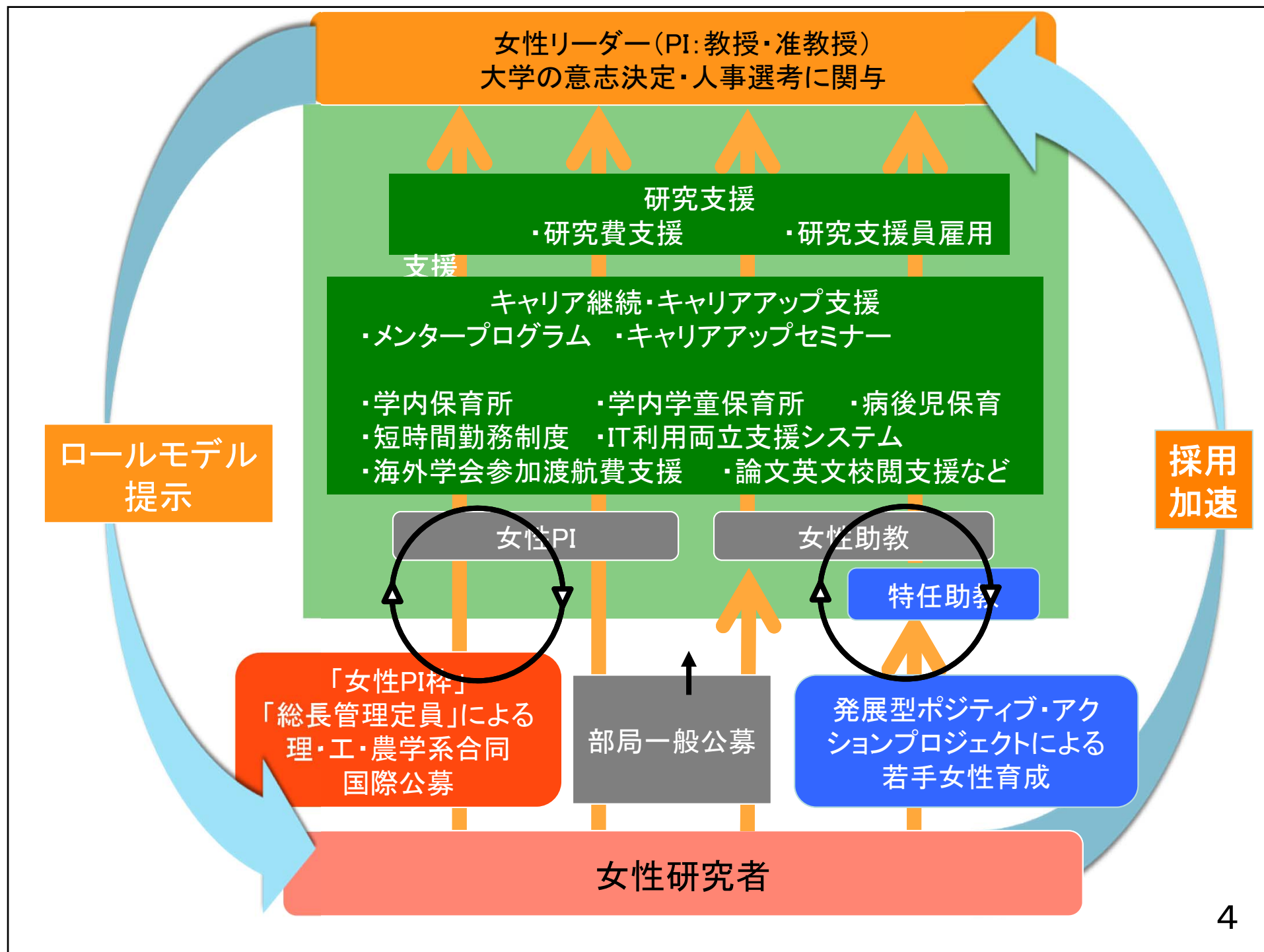
ポジティブ・アクション姿勢表明
「総長枠」若手女性研究者育成支援
(発展型ポジティブ・アクションプロジェクト)
スキルアップセミナー



さらなる加速を目指す!

名古屋大学では若手とPI両職階の常勤女性教員を 加速して増加させる取組みを強化





理・工・農分野において真に優秀な女性研究者の 応募を促進し採用を加速するための取組み

総長枠若手女性
研究者採用

常勤化への道筋
明確化

人事権をもつ
女性PIの増加

キャリア継続

女性研究者支援
環境整備事業を
公募案内で発信

部局に対して

- ・総長枠若手 & 女性PI
 - ・研究費支援
 - ・部局予算の傾斜配分
- 女性研究者採用への
インセンティブを高める

女性PI採用

「女性PI枠」公募
広い分野
国際公募

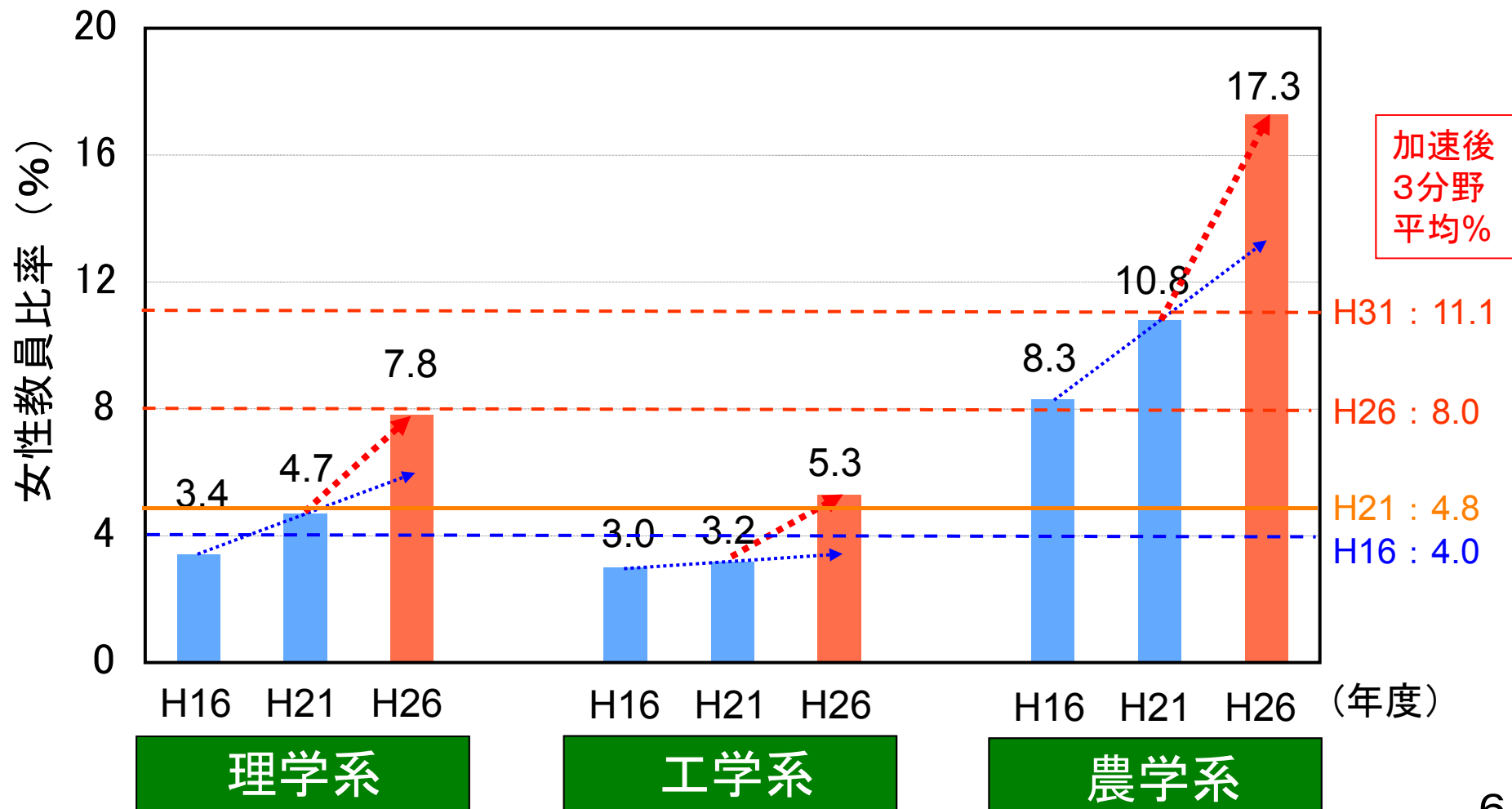
総長管理
定員

キャリアアップ

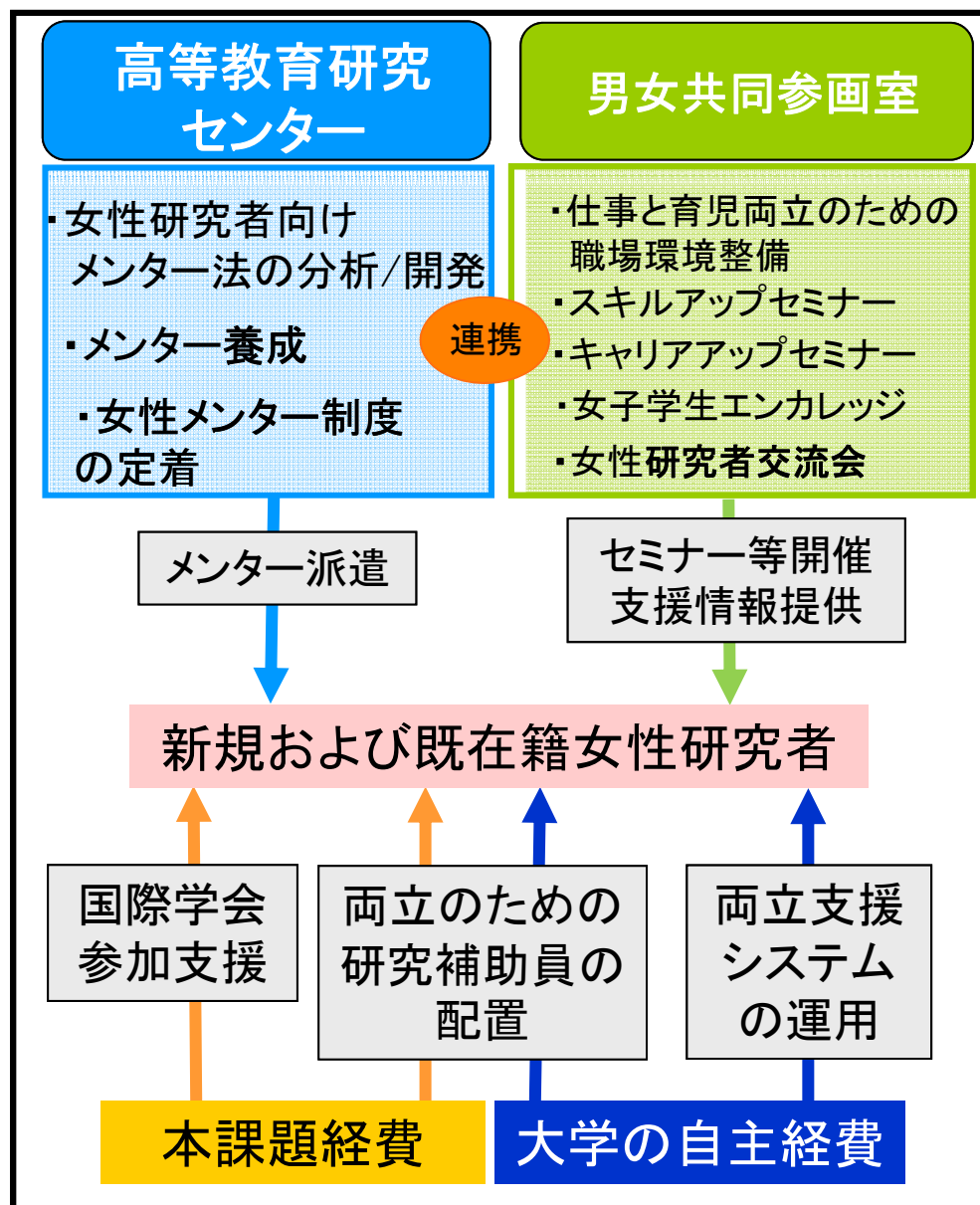
研究費直接支援
3年間総額
1550万円 (PI)
350万円 (助教)

本プログラム実施により理・工・農学系の 女性教員比率を加速的に上昇させる効果

過去5年間における平均増加率を今後5年間で**4倍**に加速すると予測!



キャリア継続・キャリアアップ支援策



本プログラムでの重点支援

- 高等教育研究センターとの連携による**メンター制度**
- 仕事と育児両立のための**研究補助員の配置**
- 国際学会参加支援

これまでの取組の継続

- 職場環境整備（学内保育所・学童保育所等）をさらに充実
- スキルアップセミナー
- キャリアアップセミナー

機関全体としての継続的取組みと将来構想

総長のイニシアティブと各部局の実行により・・・
ポジティブフィードバックにより女性教員採用の飛躍的加速へ！
今後10年間で女性教員数を女子大学院生比率にまで増加！

女性研究者の循環的・継続的採用・養成のためのシステムを提示
→他大学・他機関へ波及→全国的な女性教員比率の増加に貢献！

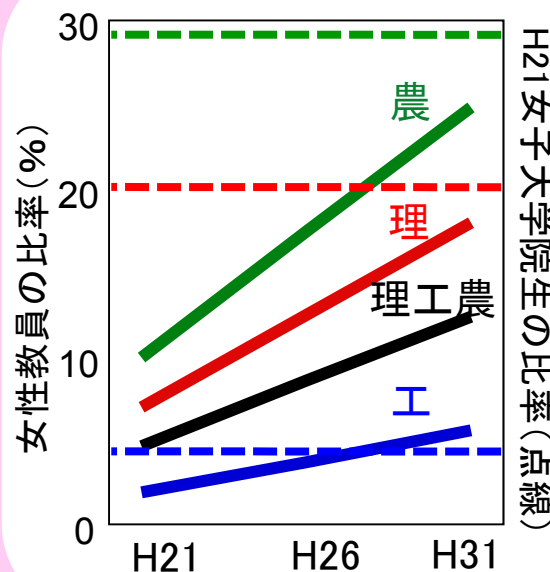
プログラム終了後も自主経費により継続(1億5000万円程度/年)

女性研究者採用加速

「女性PI公募」の継続
(自主経費 4000万円程度/年)

「発展型ポジティブ・アクション
プロジェクト」の継続
(自主経費 2000万円/年)

部局目標の達成



キャリアアップ支援

メンターバンクの拡充
スキルアップセミナーの継続

キャリア継続支援

環境整備事業の継続
(自主経費 8600万円/年)
ワークライフバランス強化

名古屋大学内学童保育所の設置(H21年7月)

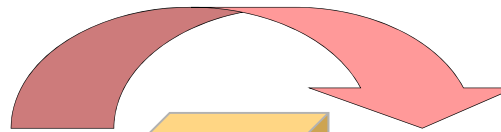
小学校就学時まで

学内保育所の拡充

鶴舞地区:新設(定員30名)
東山地区:増築(定員60名に倍増)



乗り越える！



小学校就学後

全国初！

学内学童保育所
(常時型)の設置

東山地区:増築した保育園の2F(定員:60)



小1の壁

特長

大学ならではの特別な環境で、様々な講師陣による多彩なプログラム活動！



大学関係者による多彩なプログラムと充実した施設

<ふれあいサイエンス>

・消える太陽(7/22)・星見会(7/29, 8/4, 8/26)・一日考古学者(7/28)・マインドマップ(8/5)・わくわく実験タイム(8/20、9/2、9/11、9/16)・紙飛行機をつくろう(8/28)

<ワールドフレンズ>

・アメリカの旅(7/31)・韓国の旅(8/6)
・エジプトの旅(8/4)・中国の旅(8/19)

<ぐんぐんスポーツ>

・みんなでテニス(週1)・キッズスポーツ(週1)

<わくわくクリエイティブ>

・エコエコマイバック(7/24)・巨大エアドーム(7/25)・ひんやりわらびもち(7/30)・ちゅるっと流しそうめん(8/7)・立体写真(8/18)・プチコンサート(8/21)・セル画をつくろう(8/24)・スライム工場(9/30)

<わいわいイベント>

・ザ・マジックショー(8/27)・わいわいキャンプ'09(8/25)・お誕生日会&夏休みパーティ(8/31)

<のびのびトラベル>

・まだ実施なし

名大学童保育所「ポピンズアフタースクール」の特長

特長1

柔軟な預かり体制で、**夜9時**まで延長可能。

→万が一の急な残業にも対応できる！ お風呂も完備、帰宅後は寝かせるだけ。



特長2

長期休み中だけや1日からの**スポット利用**が可能

→子供のライフスタイルに合わせた利用方法を選べる！

特長3

昼食・夕食もオプションで用意

→夏休み時は、オプション昼食以外に、お弁当と一緒に学食でランチでもOK！



特長4

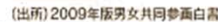
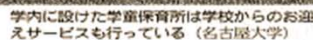
夏休みは、子どもと一緒に通勤、平日は近隣小学校は**車でお迎え**

→子供の安全、および徒歩圏外の方でも利用できるように配慮



* 塾への送迎、自宅への送迎もオプションで用意

21. 9. 2
中日(朝刊)



女性比率、先進国で最低水準

女性活用大学もそろり

相次ぎ保育施設・短時間勤務…

から、学内保守所整備、短時間勤務や在宅勤務制度の導入も進めた。女性教員を増やすため、多く採用して部団の人件費を減らす措置を実施。理学系女子学生の交流会や、先輩研究者の活躍などを紹介する冊子も配布している。

女性教員の割合は00年の9.0%から09年は11.3%へと増えた。ただし理系はまだ4.1%だ。

私立大学でも08年に7大学が、09年には10大学が男子ポジウムを開くなど機運は盛り上がりつつある。

早稲田大学は、07年10月に男女共同参画推進室を設けた。「そもそもは全くの男性ばかりで、共同参画の

大分県では、研究分野への女性の進出は進んでいるが、参加した基本法が施行された09年からすぎた年で、女性研究室長に力をつけ始めた。

奥井「昔になかった。宝塚研究所の浅倉君と子教授（法学部）が、実力は著しいが、まず取組んだのが産前・産後復帰支援。女性のための奨励金制度や、那珂銀鋼所の女性性トレーン設置。08年9月に、はワークライフバランス、リポートセンターも開設。若手研究員のキャリア支援にも力を注いだ」

1999年度に13.8%だった女性教員は09年度は19.2%に増えたが、まだ多くは非労働教育や生活文化専任教員で、常用雇用の専任教員は10.7%だ。

理工学部が多い東海大学も08年1月にワークライフバランス推進室を設け、企業から講師を招いてシ

なお役割意識 優先登用に反発も

ボジョワなどを開いている。短時間勤務婦人の導入、女性研究者のためのカウンセリングも開始した。

現在、女性の理工系女性研究者は10年度に7%、18年度に14%に達するが目標だが、推進室の谷俊子助教は「大学の研究者は授業と自分の研究の両方をこなさなければならず、企業と違う難しさがある」と話す。

取組組みは始まっているが、めざましい効果をあげているまではいえない。

一番のネックは性別役割分業意識、と言うのは、名古屋大学の東村准教授だ。

男教授が後進の任用を考へる時、女性では念頭にない。女性も女性でなっている」と考へながら。

早稲田大学の浅倉教授は「学部によつて意識は多様。伝統ある学部ほど保守的な傾向がある。ワークライフバランスや女性活用がなければ企業を繰り返し雇ふ必要がある」と話す。

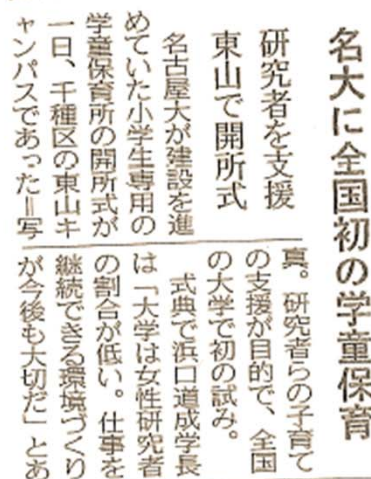
少ないポストをめぐり激しい競争を繰り広げられるなかで、出産・育児がハンデにならな状況は簡単には変わらない。同じ業績なら女性を優先する方針には、男性から「逆差別」との反発もある。

だが、女性の活用は新たな発想と手法につながる。企業で近年、ダイバーシティ（多様性）の重要性がいわれているのは、業績向上に欠かせないからだ。研究分野でも優秀な女性が活躍すれば、地球や社会で生じる様々な問題を解決する可能性が広がるだけでなく、大学全体の質の向上にもつながるからだ。

東海大学校長室長の平岡寛己教授（航空宇宙専攻科）は「授業や指導は代われるが、研究はひとしかできない。人間の理解とともに、本人の意欲と技術を維持する努力も大切」と語る。

活躍する女性研究者が増えれば、同道を志す後輩も増えるだろう。そのために男女共同参画をさらに進める必要がある。

【編集委員 岩田三代】



いさつした。
保育所は、増築した
保育園の二階部分約二
百平方に設けた。七
月二十一日から運用を
始め、夏休みに十人ほ
どが通った。運営は民
間会社委託し、午後
九時まで預かる。
大学ならではの利点
を生かし、夏休みも研
究者が「講師」にな
り、天体観測をした
り、土器の復元を体験
したりした。一年生の
子どもを預ける女性研
究者（と）は「研究に没
頭できる時間が確保で
き、職場と近いので安
心できる」と話す。

学内学童保育所 テレビ報道

